

令和6年 第871回小浜市教育委員会定例会 会議録

開催日時	令和6年9月20日(金)		開会 15:30 閉会 16:10		
開催場所	市庁舎4階401会議室				
出席委員	窪田教育長	上田職務代理者	村上委員	坂下委員	
欠席委員					
事務局	谷教育部長	畑田教育部次長	日比野生涯学習 スポーツ課長	松宮主幹	井上課長補佐
	赤崎課長補佐	田中課長補佐	大橋指導主事		
傍聴者					
会 議				会議の結果	
<p>委員会開会</p> <p>(教育長) 宣言および開会あいさつ</p> <p>9月に入ってから猛暑日が続いている。本日、小浜市の気温は38.0℃を記録し、全国ランキング2位となっている。各学校では、しっかりと子どもたちの熱中症対策をさせていただいており、現在のところ熱中症等の報告が無いことを大変うれしく思っている。引き続き、気を引き締めながら学校生活を支援していきたい。</p> <p>MLBの大谷翔平選手が、50本塁打、50盗塁を突破し、前代未聞の記録を打ち立てた。本人の生まれ持った才能と、人知れず努力を積み重ねてきた結果であると思うが、その基礎となった環境(家庭や学校、野球の仲間、球界等)の中で、どのようにしてあれほどの資質能力が育まれ、開花したのか、非常に興味をそそられる。大谷選手に限らず、オリンピックに出場した選手も皆口々に「自分一人では成しえなかった結果である」と述べている。我々教育に携わる者としては、そういったことから本質的なものを抽出して、学校教育環境あるいは社会教育環境の充実に役立てていくことも大事だと、改めて感じたところである。</p> <p>1 会議録の承認について</p> <p>第870回教育委員会定例会会議録 <<承認>></p>					

会議録署名人2名の選任

第871回教育委員会定例会会議録署名委員選任 《上田職務代理者、村上委員》

2 報 告

・報告第13号 小浜市教育委員会委員の任命について 《承認》

・報告第14号 諸般の報告 令和6年8月21日～令和6年9月19日

行事予定 令和6年9月20日～令和6年10月31日 《承認》

上田職務代理者 9月26日に国民スポーツ大会福井県選手団の小浜市壮行式があるが、何名の選手が出場されるのか。

事務局 バレーボール1名、ウエイトリフティング4名、バスケットボール1名の計6名が出場することとなっている。

上田職務代理者 同日に行われる福井県選手団の福井県壮行式には参加できないのか。

事務局 時間をずらして開催するため、どちらにも参加できる。

村上委員 10月1日に人権講演会が小浜中学校と小浜第二中学校で予定されているが、1日で開催されるのか。

事務局 午前に小浜中学校、午後に小浜第二中学校と分けて開催する予定である。

村上委員 一般参加はできるのか

事務局 今回は生徒と教職員のみを対象としている。

教育長 10月20日に「全国育樹祭」が開催される。私と上田職務代理者、事務局職員2名の計4名が参加する予定である。前日に開催される「緑の少年団活動発表会」では、加斗小学校が全国で優秀な活動を行った5団体の1つに選ばれ、発表する。また、20日は昨年度の福井県最優秀賞受賞団体として、皇族殿下の前で発表する。しっかりと発表を聞いてまいりたい。

3 議 案

・議案第14号 令和6年度小浜市文化奨励賞被表彰者の決定について 《承認》

教育長 前回までの選考基準と変更点があれば、説明をお願いします。

事務局 奨励の部において、年齢や功労期間については要綱に定められていない中、これまで選考委員会における選考の目安として、功労期間を10年程度としてはどうかと、事務局から提案していた。しかし、一昨年および昨年の選考委員会において、「功労期間が短くても素晴らしい芸術活動をされている若い方が市内に多くおられるので、それらの方々が表彰候補者となる機会を得られることが望ましい」との意見があったため、今年度の選考委員会においては、事務局から功労期間についての提案を行わず、活動内容やこれからの活動への期待という視点からご意見をいただいた。

4 教育長報告 なし

5 その他

村上委員 ある保護者から、家庭課題（宿題）が出ない、または出した課題を集めない先生がいると聞いた。子どもの自主性を尊重するという事だと思いが、それで大丈夫なのかという声もある。英語塾の先生からも、単語さえ覚えていない子がいると聞いた。全体的に学力が低下しているのではないかと心配している。昨年のSASAにおいて、特に英語の成績が他の科目に比べて課題があると聞いているが、その対策としてどのようなことを行われているのか。また、自主的に家庭課題に取り組むための指導はどのようにされているのか。

事務局 県の学力調査の結果を踏まえて、昨年度は市内の英語担当者が集まり研修会を開催した。今年度は、県の英語教育推進事業に県内の小学校4校と中学校6校が参加しており、小浜市は小浜中学校が英語のデジタル教科書を活用するモデル事業に取り組んでいる。小浜市は特に中学校でタブレット端末の使用が進んでおり、英語科では100%の教員がデジタル教科書を活用して授業づくりを行っていることから、県の研修会でもその取り組みが取り上げられるなど、英語における教育の改善に積極的に取り組んでいると言える。また、家庭課題については、中学校では家庭学習用としてデジタルドリルを導入している。小学生に対しても、AIドリルやデジタル

を利用して英語の知識を広げる取り組みが進められている。しかし、個々の学校や個々の教員の活動については現在把握していない。

村上委員 デジタル教科書の利点は何か。

事務局 デジタル教科書は、例えば英語では教科書自体に音声などの機能が含まれており、家庭でも発音練習が可能であることが利点として挙げられる。

教育長 大きな課題は、保護者の理解をどのようにして得ていくかということである。今、日本全国で大きな潮流となっているのは、子どもたちが「自分で学ぶ力」を身につけることである。究極を言えば、宿題がなくても自分で学習を進めていく子どもを育てていく。そのために、授業においてこれまでの教師主導の単線型の授業から、子ども主体の複線型の授業へと在り方が大きく変わってきていることを保護者にも理解していただき、家庭学習においてもそのような学習の良き理解者、支援者になっていただくことが不可欠である。また現在、一人一台の端末が導入され、その活用の頻度や質によって学校間や学級間の格差拡大が懸念されている。こうした課題に対して、子どもたちが共通基盤の上に立って主体的に学びを進めることのできる環境を、ハード面、ソフト面の両面にわたって整えることが重要である。子どもたちの学びを大きく変革していくためには、今ほど委員から提示いただいた課題に対しても、段階を追った取組など一つ一つ丁寧に対応することが重要であると考えている。保護者への説明も重要であり、どのように共通理解を図っていくかを検討している。まだまだ保護者にとって教師主導の授業イメージが強い中、宿題が出ないこと等への不安も理解できる。学校や家庭との連携を今まで以上に密にする中で、教育委員会としての役割をしっかりと果たしていきたい。

委員会閉会 (教育長) 宣言

この会議録が真正であることを確認して署名する。

小浜市教育委員会議事録署名委員

委員 上田 俊彦 教育長職務代理者

委員 村上 郁子 教育委員